

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康都市づくり関連事業（中区）			事業番号	212-014
担当部署名	中区役所	局	中保健福祉総合センター	部	中保健センター
					課

I．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現	
			有	取組の方向性	③健康を支える地域社会の形成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4	
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			健康増進法・歯科口腔保健計画					
3	事業開始年度			平成 9 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			老人保健法の制定後、市民の健康への関心を高めるためのイベントとして「保健所まつり」を実施してきた。 平成8年支所行政への移行に伴い、各区におかれた保健所（保健センター）が、市民の健康増進の拠点としての役割を担っている。平成9年の「健康都市堺」宣言、平成14年に健康増進計画の策定があり、健康づくりを推進する機運が高まり、現在も継続している。					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			各区						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			中区民			対象数		単位	
							約12万		人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			区民の自発的な健康増進の意識を育成して健康の保持増進・生活習慣病の予防を図り、健康寿命の延伸を目指す。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			健康情報を広く区民に発信することを目的に、区で実施している区民フェスタのブースに出展し、がん検診、健康相談、各種検診受診案内など多岐にわたる健康関連の啓発・情報提供などを行う。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）									
10	公民連携・協働事業									

Ⅱ．事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	がん検診受診者数	人	目標値	100	100	100	100
実績値			117	82			
達成率			117%	82%			
当該指標を選定した理由		休日にがん検診を実施することで、平日にがん検診を受診しにくい対象者のがん受診者数を向上を目的としている。					
目標値の設定根拠・算出方法		令和4年度実績に基づいて算出。					

12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	健康フェスタ参加者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	
実績値			877	979			
達成率			88%	98%			
当該指標を選定した理由		健康情報を広く区民に発信することを目的としている。					
目標値の設定根拠・算出方法		実施場所の変更に伴い、日時やブース内の広さを考慮し、安全に実施するための参加者数として算出。					

令和6年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名		健康都市づくり関連事業（中区）			事業番号		212-014	
-------	--	-----------------	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		決算		決算		当初予算	決算	当初予算	
13	事業費（a）	0		650		300	300	300	
	財 源 内 訳	国支出金					0	0	0
		府支出金					0	0	0
		市債					0	0	0
		その他（堺市民健康生きがいづくり基金）			600		300	300	300
		受益者負担金(使用料、手数料等)					0	0	0
	一般財源			50		0	0	0	
14	人件費（b）	0		984		810	810	810	
15	年間経費(c)=(a)+(b)	0		1,634		1,110	1,110	1,110	

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		負担金	R5	決算	300	0		R5	決算		
			R6	予算	300	0		R6	予算		
			R5	決算				R5	決算		
			R6	予算				R6	予算		
			R5	決算				R5	決算		
			R6	予算				R6	予算		
			R5	決算				R5	決算		
			R6	予算				R6	予算		
			R5	決算				R5	決算		
R6	予算				R6	予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分	単位	令和4年度	令和5年度
	① 参加者数	人	877	976
	② 上記①にかかる年間経費	千円	650	300
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	741	307
備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18

令和元年度までは、区民まつりと同日に、健康フェスタとして開催していたが、令和4年度からは、区民フェスタの実施場所の変更に伴い、実施方法を見直し、区民フェスタの1つのブースでの実施とした。肺がん検診、血圧測定や各種検診の受診案内、がんや生活習慣病予防などの啓発、子どもを持つ世代に向けては、災害への備えについてのクイズなど、区民に向けてあらゆる健康情報を発信することができている。また令和5年度は、事業費を50%削減し、より効率的に実施することができ、費用対効果は高くなった。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19

実施場所の変更に伴い、区民フェスタのブースで実施したことで、保健センターの事業が広く周知され、参加者数に関して目標の9割は達成できた。また、令和4年度に初めて区民フェスタで、がん検診を実施したが、休日にがん検診を案内したことにより、普段保健センターへ来所する機会が少ない対象者が、がん検診を受診する機会につながり、実際にがんの早期発見につながっている。また、日頃保健センターに来所することの少ない青壮年層に向けて、多岐にわたる健康情報の発信や啓発ができ、健康意識を高めることができたと考えられる。